

広帯域・温調高安定型850nmSLD光源

光インタコネクション分野のさまざまな光応用計測に最適な、850nm 帯の高出力・低コヒーレント光源。

光インタコネクション分野をはじめ、さまざまな光応用計測に最適な、850nm 帯の高出力・低コヒーレント光源です。光源は高出力タイプ 850nmSLD（スーパーリミネッセンスダイオード）を採用、約 2mW（APC-SM ファイバ端）の高出力を実現しました。また、素子温調により高い安定性を有します。マルチモードファイバの伝播特性測定や光配線導波路の損失測定、受光素子の光感度測定等、さまざまな光デバイス・光モジュールの計測に応用が可能です。

【製品の特長】

- 高出力 SLD（スーパーリミネッセンスダイオード）を採用した広帯域・高出力型低コヒーレント光源
- 中心波長は 850nm±20nm、半値全幅約 30nm (typ.) の広帯域光源。
- 素子温調により、電源投入 1 時間エージング後、1 時間で typ.0.5% 以下、12 時間で typ.2% 以下の高い出力安定性。
- 一体型筐体・FC コネクタ出力型で、電源投入で直ちに使用可能。

【製品の主な仕様】

- 光出力 約 2mW（APC-SM ファイバ出射端）
- 光出力方式 FC コネクタ出力
- 光源 850nm 高出力型 SLD（スーパーリミネッセンスダイオード）
- 光源中心波長 850nm±20nm
- 波長幅 30nm（半値全幅）
- 出力安定性 typ.0.5% 以下（1 時間エージング後の 1 時間）
typ.2% 以下（1 時間エージング後の 12 時間、室温環境下）
- 電源 AC100V±10%、50/60Hz

* 本光源は市販の SLD を使用しています。上記記載の光源仕様は予告なく変更となる場合があります。

【製品の主な構成】

- 高出力・低コヒーレント 温調付安定型 850nmSLD 光源 LSS002/850 標準構成
 - LSS002/850 本体 1 式
 - 電源ケーブル 1 本
 - 電源キー 1 本



広帯域・温調高安定型1310nmSLD光源

1310nm 帯の調芯用光源や各種光測定用に最適。高出力・低コヒーレント赤外 SLD 光源。

光インタコネクション分野をはじめ、さまざまな光応用計測に最適な、中心波長 1310nm の高出力・低コヒーレント光源です。光源は高出力 1310nmSLD（スーパーリミネッセンスダイオード）を採用、約 3mW（FC/PC-SM ファイバ端）の高出力を実現しました。また、素子温調により高い安定性を有します。シングルモード光導波路の挿入損失測定や出射端の NFP 測定用光源、受光素子の光感度測定等、さまざまな光デバイス・光モジュールの計測に応用が可能です。

【製品の特長】

- 高出力 SLD（スーパーリミネッセンスダイオード）を採用した広帯域・高出力型低コヒーレント光源
- 中心波長は 1310nm±20nm、半値全幅約 53nm (typ.) の広帯域光源。
- 素子温調により、電源投入 1 時間エージング後、1 時間で typ.0.5% 以下、12 時間で typ.2% 以下の高い出力安定性。
- 一体型筐体・FC コネクタ出力型で、電源投入で直ちに使用可能。

【製品の主な仕様】

- 光出力 約 3mW（PC-SM ファイバ出射端）
- 光出力方式 FC コネクタ出力
- 光源 1310nm 高出力型 SLD（スーパーリミネッセンスダイオード）
- 光源中心波長 1310nm±20nm
- 波長幅 typ.53nm（半値全幅）
- 出力安定性 typ.0.5% 以下（1 時間エージング後の 1 時間）
typ.2% 以下（1 時間エージング後の 12 時間、室温環境下）
- 電源 AC100V±10%、50/60Hz

* 本光源は市販の SLD を使用しています。上記記載の光源仕様は予告なく変更となる場合があります。

【製品の主な構成】

- 高出力・低コヒーレント 温調付安定型 1310nmSLD 光源 LSS002/1310 標準構成
 - LSS002/1310 本体 1 式
 - 電源ケーブル 1 本
 - 電源キー 1 本

